

「サステナブルな社会実現に向けた社会課題」に関する意識調査結果

明治は、全国の16歳以上の男女を対象に「サステナブルな社会実現に向けた社会課題」に関する意識調査を行いました。

【調査概要】

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の16歳以上の男女

有効回答数：9,810 サンプル

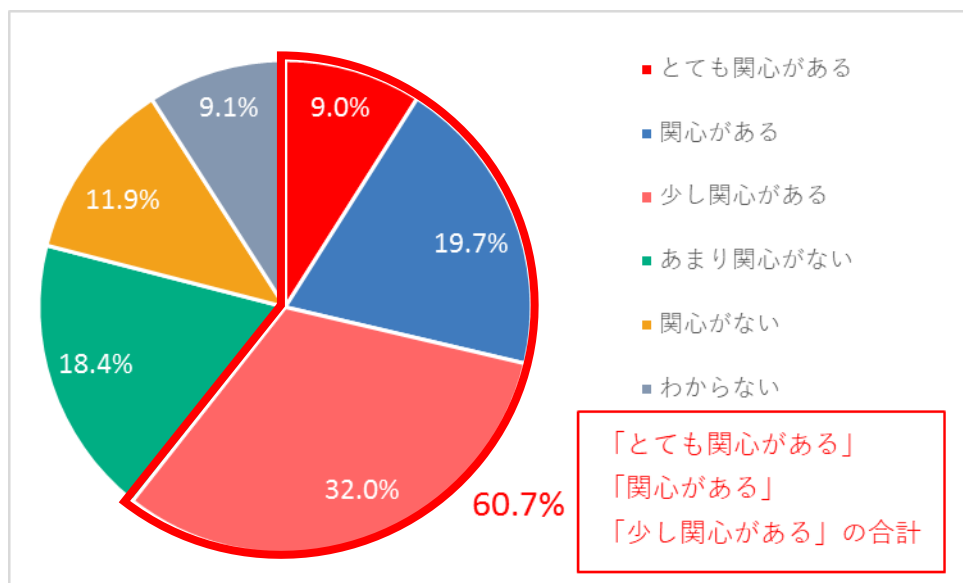
調査時期：2022年2月～3月

【調査結果】

※構成割合は四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

●あなたは、SDGsをはじめとするサステナブルな取組みについて、どの程度、関心をお持ちですか。

(n=9,810)



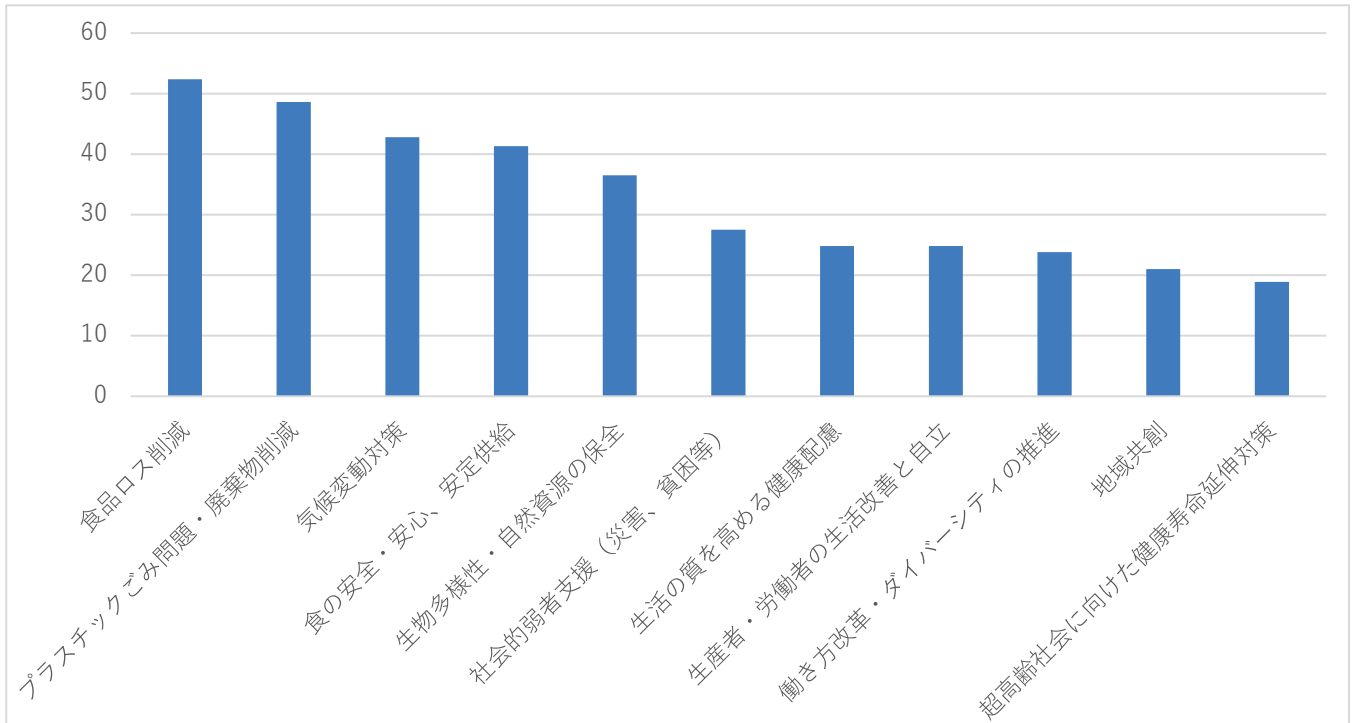
「とても関心がある」「関心がある」「少し関心がある」の合計で6割を超えるなど、ある程度の関心が寄せられていることが分かりました。

●あなたが、「サステナブルな社会の実現に向けた課題」に当てはまると思うものをあげてください。

(複数回答、n=9,810)

※上位項目より左から順に表示

※「その他」「わからない」を除いて表示



※提示項目

気候変動対策（CO2削減、地球温暖化防止、再生可能エネルギー、省エネなど）

プラスチックごみ問題・プラスチックの適切な利用・廃棄物削減

食品ロス削減

生物多様性・自然資源の保全（森林・海洋・水など）

地域共創（活性化、過疎・過密対策など含む）

生活の質を高める健康配慮（生活習慣予防、免疫強化など）

超高齢社会に向けた健康寿命の延伸対策

食の安全・安心、安定供給

生産者・労働者の生活改善と自立（生産者支援、フェアトレード）

働き方改革・ダイバーシティ（多様性）の推進

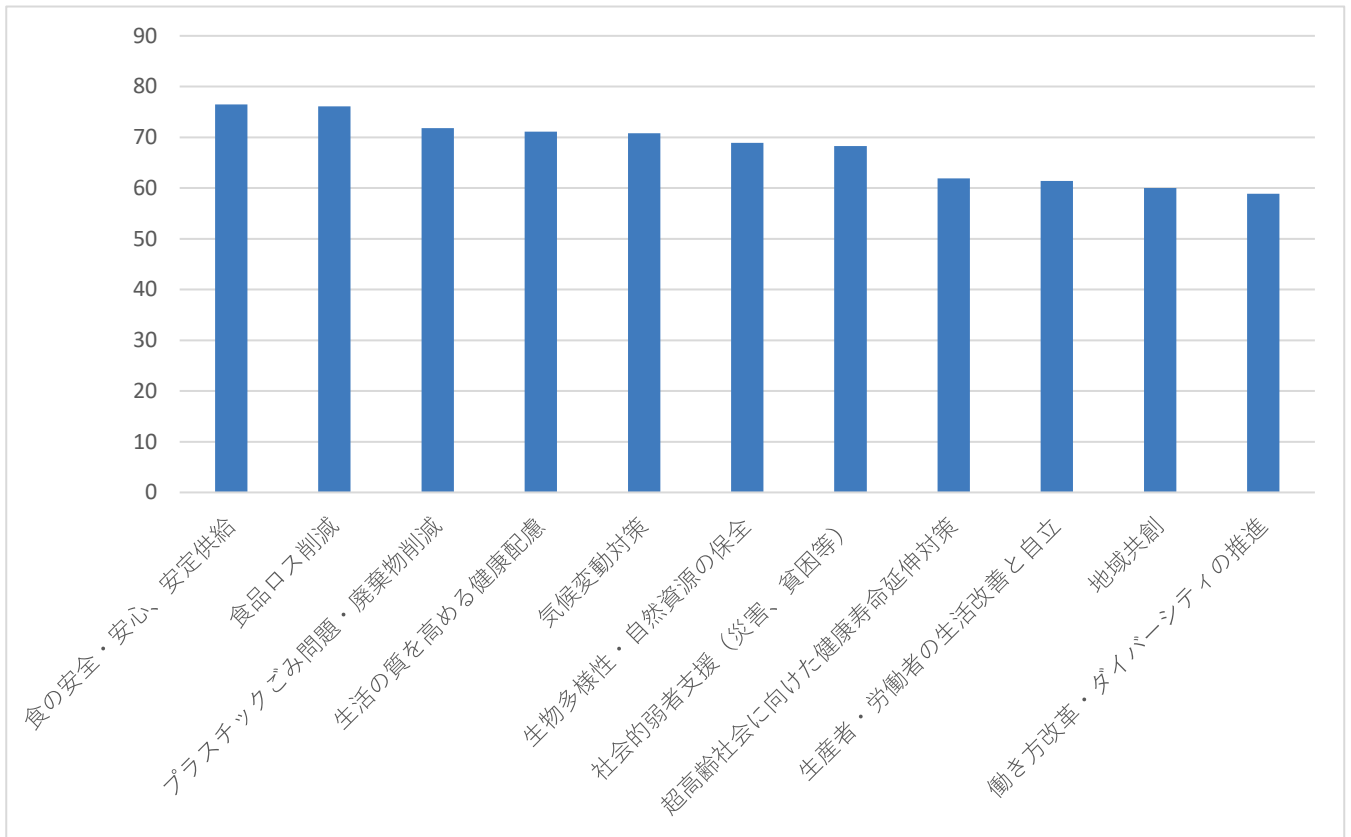
社会的弱者支援（災害、新型コロナウイルス、貧困など）

「食品ロス削減」(52.4%)、「プラスチックごみ問題・廃棄物削減」(48.6%)を約半数が選択するなど、身近な社会問題を「サステナブルな社会の実現に向けた課題」と捉えている方が多いことが分かりました。

●あなたは、次にあげる社会的な課題について、どの程度関心をお持ちですか。(n=9,810)

※上位項目より左から順に表示

※「とても関心がある」「関心がある」「少し関心がある」の合計値



「食の安全・安心」(76.5%)、「食品ロス削減」(76.1%)、「プラスチックごみ問題・廃棄物削減」(71.8%)、「生活の質を高める健康配慮」(71.1%)、「気候変動対策」(70.8%)など、身近な社会課題に7割を超える高い関心が寄せられました。

以上